



✓ Third party verified

Environmental Product Declaration

Conformance with
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044

Hitachi Vantara, Ltd.

日立ヴァンタラ株式会社

Hitachi Vantara, Ltd.

Hitachi Virtual Storage Platform One Block 85

H-65AH-CBXANNN / A-65AH-CBXANNN



登録番号

SuMPO-EPD-2604-135-1

検証合格日

2026/4/8

公開日

2026/4/18

検証有効期間

2031/4/7

EPDタイプ

単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

なし

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

>プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

>GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	IT機器
PCR登録番号	PA-520000-BF-04
PCR認定日	2023/8 /15
レビューパネル委員長（所属）	山岸 健
PCR有効期限	2028/8 /14
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

>検証情報

検証の種類	ISO14025に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	淵上智子（合同会社エフプロ）		

>準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、製品のライフサイクル全体を考慮し、同等の用途を想定したシナリオを適用する必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	日立ヴァンタラ株式会社 ストレージ事業本部
住所	神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地
問い合わせ先	045-870-1533(大代表)
LCA算定実施者（所属）	日立ヴァンタラ株式会社
事業者概要	日立ヴァンタラ株式会社は、日立製作所グループのITソリューション企業で、ストレージ製品を中心に事業を展開しています。 エンタープライズ向けストレージシステムやデータ管理ソリューションを提供し、グローバルに事業を展開しています。 https://www.hitachivantara.com/ja-jp/home

●製品情報

製品名称	Hitachi Virtual Storage Platform One Block 85		
製品の型式	H-65AH-CBXANNN/A-65AH-CBXANNN		
製品仕様	製品質量	797.34 kg	換算係数 -
	製品機能	大規模な企業や組織が業務で扱う膨大なデータを安全かつ効率的に保存・管理・保護するための高性能・高信頼のストレージシステム	
	製品の用途	データセンタやインターネットクラウドにおけるデータストレージ、ミッションクリティカルな業務での使用、AI分析など。	
	技術性能	NVMeドライブ採用による、高速・大容量データストレージを提供(最大17.28PB)	
耐用年数	年数	5年	
	使用条件	データセンタ等	
	年数を設定した根拠	IT機器PCR(法定耐用年数)に則り5年とした	
製造サイト (製造拠点)	日立ヴァンタラ株式会社		
製品概要	<p>高可用性と効率性・シンプルさを兼ね備えたエンタープライズストレージ NVMe対応オールフラッシュ構成と高効率容量削減機能が、多様なワークロードに安定した性能とシンプルな運用を提供します。 また、さまざまなセキュリティリスクからデータを確実に保護し、ビジネスの継続性を支えます。</p> <p>< 主な製品仕様 > RAIDコントローラシャーシ(最大) : 3台 ドライブボックス(最大) : 3台 搭載ドライブ台数(最大) : NVMe SSD 288台 記憶容量(最大) : 17,280TB (1TB=1,000,000,000,000Byte)</p>		
製品ウェブサイト	https://www.hitachivantara.com/ja-ip/products/storage-platforms/block-storage/vsp-one-block-high-end		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
ディスクアレイ装置(ラックを含む)			
鉄	53.6	427.17	kg
その他金属	0.7	5.27	kg
プラスチック	2.1	16.60	kg
プリント基板	9.6	76.90	kg
被覆銅線、モータ(FAN)	13.4	106.63	kg
電池	1.8	14.53	kg
電源	10.5	84.01	kg
SSD	8.3	66.24	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
段ボール	68.6	11.13	kg
プラスチック	7.4	1.20	kg
乾燥剤	24.0	3.90	kg

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

● LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 単一製品	<input type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品	
	サイトタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト	<input type="checkbox"/> 複数サイト		
	開示方法	<input checked="" type="checkbox"/> 特定値	<input type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値	<input type="checkbox"/> 上限値
地理的範囲		グローバル			
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		-			
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果の 上下幅に関する説明		-			
複数製品EPDの説明		-			

> LCA関連情報

宣言単位	販売単位 (1システム)		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	797.34 kg		
基準フロー (機能単位を満たすため に必要な製品数)	-		
システム境界	<input type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	MiLCA for EPD 3.2.0.0		
LCIデータベース	IDEA 3.1		
特性化モデル	気候変動: IPCC第6次評価報告書(IPCC,2013年)、その他の影響領域: LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	-		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。		
一次データ収集拠点	日立ヴァンタラ株式会社		
一次データ収集期間	2025/1~2025/12		
生物由来炭素の取り扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に 関する情報	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他
	種類	-	
	購入日	-	
	発行元	-	

> 算定対象段階

原材料調達	製造	流通	使用・維持	最終(EoL)
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

■ : 算定対象 - : 算定対象外

> アロケーション

生産段階における組立プロセスで、工数を基準として工場全体の電力量を他製品とアロケーションした。
具体的には、組立工程に要する作業時間を用いて、工場全体で消費された電力量を各製品に配分した。

> カットオフ

IT機器PCR(PA-520000-BF-04)で規定されたカットオフルールに則り、規定された以外のカットオフは実施していない。

> システム境界

GPI/PCRに基づき設定を行った。GPI/PCRで定められたシステム境界外プロセス以外をシステム境界外としていない。
GPI/PCRで定められたシステム境界外プロセスは算定に含んでいない。
時間的システム境界は100年である。

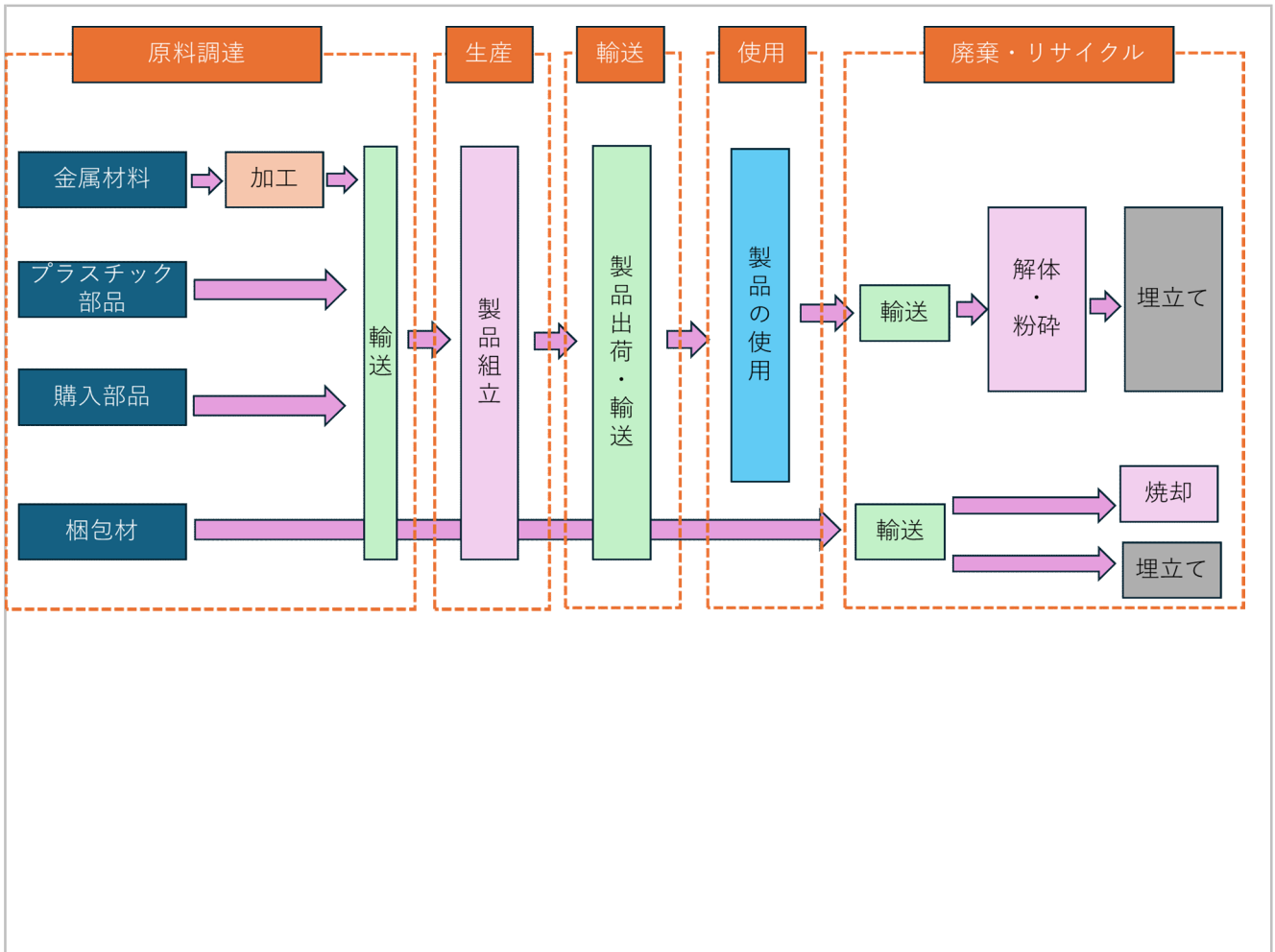
> シナリオ

原材料の輸送および廃棄・リサイクルの輸送距離、使用段階はPCRのシナリオを使用した。

> 電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2018年における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



Environmental Product Declaration for Hitachi Virtual Storage Platform One Block 85

●算定結果

> ライフサイクル影響評価結果

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
気候変動	kg-CO ₂ eq	1.15E+06	3.42E+03	1.32E+02	4.37E+05	2.32E+02
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	2.72E-01	8.27E-04	1.77E-09	1.06E-01	6.62E-06
酸性化	kg-SO ₂ eq	1.59E+03	3.36E+00	4.36E-01	4.29E+02	1.17E-01
都市域大気汚染	kg-SO ₂ eq	1.25E+03	2.56E+00	1.63E-01	3.28E+02	7.02E-02
光化学オキシダント生成	kg-C ₂ H ₄ eq	4.66E+01	6.59E-02	9.29E-04	8.42E+00	8.52E-04
有害化学物質(発がん性)	kg-C ₆ H ₆ eq	3.59E+03	7.99E-02	6.55E-04	1.02E+01	1.01E-02
有害化学物質(慢性)	kg-C ₆ H ₆ eq	3.13E+01	1.02E-02	4.26E-04	1.30E+00	2.38E-04
水生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	1.12E+04	6.67E+00	2.09E-05	8.53E+02	5.76E-02
陸生生態毒性	kg-C ₆ H ₆ eq	1.79E+05	1.62E+02	3.46E-04	2.07E+04	1.29E+00
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	1.91E+01	2.08E-04	1.35E-09	2.66E-02	8.28E-04
土地利用(維持)	m ² /年	1.24E+04	1.69E+01	1.10E+01	2.16E+03	1.28E+00
土地利用(改変)	m ²	2.60E+02	4.68E-01	2.21E-01	5.99E+01	2.66E-02
資源消費	kg-Sbeq	2.32E+02	2.32E-02	5.48E-04	2.97E+00	3.73E-04

> ライフサイクルインベントリ分析関連情報

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
非再生可能資源	kg	1.62E+05	4.55E+01	1.32E-04	5.82E+03	1.10E+00
非再生可能エネルギー	kg	4.55E+05	1.28E+03	4.02E+01	1.64E+05	2.41E+01
非再生可能エネルギー	MJ	1.90E+07	5.30E+04	1.80E+03	6.78E+06	1.04E+03
再生可能資源	kg	9.49E+04	3.66E+00	3.36E-05	4.68E+02	3.93E-02
再生可能エネルギー	MJ	4.78E+06	2.18E+04	4.58E-02	2.79E+06	1.73E+02
淡水の消費	m ³	4.62E+03	4.91E-01	2.69E-03	6.28E+01	1.40E-02

> 廃棄物関連情報

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
有害廃棄物	kg	-	-	-	-	-
無害廃棄物	kg	1.44E+04	4.16E-01	1.14E-06	5.32E+01	8.34E+02
一般廃棄物 埋立物	kg	1.29E+00	1.58E-10	1.85E-15	2.02E-08	2.56E-02
産業廃棄物 埋立物	kg	1.44E+04	4.16E-01	1.14E-06	5.32E+01	8.34E+02

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

> 出力フローに関する環境情報

		①原材料調達	②生産	③流通	④使用・維持管理	⑤廃棄・リサイクル
再利用可能な部品	kg	-	-	-	-	-
リサイクル用材料	kg	-	-	-	-	-
エネルギー回収用材料	kg	-	-	-	-	-
廃棄物からの排出エネルギー (エネルギー回収効率 ≥ 60%)	MJ	-	-	-	-	-
廃棄物の焼却 (エネルギー回収効率 < 60%)	廃棄物焼却処分量	kg	-	-	-	-
	回収エネルギー	MJ	-	-	-	-
廃棄物の埋立 (廃棄物の埋立により発生する 埋立ガスからのエネルギー回収)	廃棄物埋立処分量	kg	-	-	-	-
	回収エネルギー	MJ	-	-	-	-

> LCA算定結果に関する説明

(1) 製品仕様

- ・製品名 Hitachi Virtual Storage Platform One Block 85 (H-65AH-CBXANNN/A-65AH-CBXANNN)
- ・算定条件
製品を構成するRAIDコントローラシャーシ(H-65AH-B1NCBXANNN/A-65AH-B3NCBXANNN 1台、H-F65AH-B1NCBXANN/A-F65AH-B3NCBXANN 2台)とドライブボックス(H-F65AH-B1NNBX/A-F65AH-B3NNBX) 3台にNVMe SSD 60TBを最大数(288台)搭載した最大構成で算定

- ・使用したシナリオの製品種類名
ディスクアレイ(半導体ディスクドライブを搭載)

<主な製品仕様>

- 記憶容量^{*1} : 17,280TB
- 想定使用年数^{*2} : 5年
- ドライブの種類 : 半導体ディスクドライブ(NVMe SSD)
- ドライブインターフェースの種類 : NVMe
- ドライブ台数 : 288台

- ・測定条件 : 使用時電力は、認定PCR(PA-520000-BF-04)で定めた測定方法により測定しております。

*1 本容量は1TB=1,000,000,000,000Byteとして計算した値です。

*2 想定使用年数は、法定耐用年数（電子計算機 その他のもの 5年）として計算しております。

(2) 算定結果の解釈と限界に関する説明

- ・使用・維持管理段階は、一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります。
- ・EPD算定にあたり、原料使用量は当社データを利用していますが、数千点におよぶ部品の製造時データを収集することは困難なため、一般的な原料製造時のデータを利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。
- ・「部品、付属品」の製造に係る活動量は、原単位に合わせて質量、価格、数量の単位で収集しています。

●追加の環境関連情報

> LCAに関連しない追加の環境情報

ISO14001取得工場で生産・組立を行っており廃棄物は適切に処理されています。

日立グループ グリーン調達ガイドラインに則り、製品は欧州RoHS指令準拠、欧州REACH規則、POPs条約準拠、米国TOSCA準拠等、各国有害物質規制に準拠しており有害物質は含有していません。

日立グループ グリーン調達ガイドライン : <https://www.hitachi.co.jp/procurement/csr/environment/pdf/green.pdf>

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
—	—	—
—	—	—
—	—	—

●用語の定義

NVMe SSD : Non-Volatile Memory Express Solid State Drive

● 参考文献

- ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines

● 改訂履歴